

純粋なクルージングの楽しさを追求

ロイヤルエンフィールドが新型Super Meteor 650を発表

- **ロイヤルエンフィールドが、ファン待望のオーセンティック・クルーザー・モデル、Super Meteor 650をインドとヨーロッパで発売開始**
- **ロイヤルエンフィールドの121年の伝統を継承し、高い評価を受けている650cc並列二気筒エンジンと新しいシャシーを組み合わせ、クルーザー・モデルを新たなレベルへと昇華**
- **アジア太平洋市場でも今後順次発売***

2023年1月16日：クルーザー・カテゴリーに新しいキャラクター、スタイル、扱いやすさをもたらしてきたロイヤルエンフィールドは、昨年11月にイタリアで開催されたEICMAで**Super Meteor 650**(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)を公開、その後、ロイヤルエンフィールドが主催する毎年恒例のモーターサイクル・フェスティバル、「ライダーマニア」で、すべてのカラーリングを展示しました。本日、ロイヤルエンフィールドは、インドとヨーロッパで新型**Super Meteor 650**を発売開始し、導入する市場や価格を発表しました。このニューモデルは2つのバリエーション、**Super Meteor 650**と**Super Meteor 650 Tourer**(スーパー・メテオ・ロクゴーマル ツアラー)の2つのグレードと、合計7つのカラーから構成しています。

Super Meteor 650は、ロイヤルエンフィールドが誇るクルーザー・モデルの伝統を受け継いでいます。このモデルには2018年以来、数多くの賞を受賞したモデルである、**INT 650**(アイエヌティ・ロクゴーマル)および**Continental GT 650**(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)に搭載し、世界的に高い評価を得ている648cc 並列二気筒エンジンを採用しています。ベルギーの石畳をはじめ、インド、英国、スペインの高速道路、裏道、ワインディングロード、市街地などで100万キロを超える厳しいテストを実施した結果、非常に信頼性が高く、ライディングが楽しいモデルに仕上がっています。

アイシャーモーターズ・リミテッドのマネージングディレクターであるシッダールタ・ラルは、新型**Super Meteor 650**に関して次のようにコメントしています。「**Super Meteor 650**は、あらゆる意味でオーセンティックなレトロクルーザーであり、そのデザイン、サイズ、ディテールに定評のある650cc並列二気筒エンジンにより、高速道路、一般道を問わず、様々な路面で心ゆくまでライディングを楽しめるモデルになっています。このモーターサイクルは、あらゆる速度域で安定して優れたハンドリングとコントロール性を示しますが、特に、高速道路を使用したクルージングで素晴らしい走行体験を得ることができます。**Super Meteor 650**のスタイルや雰囲気、過去に存在し、人気だったカラーをイメージしたカラーリングは、街中で輝き、ライダーに所有する喜びをもたらします。私たちは、クルーザー・モデルの購入を考えたことのない人々にもその走りを楽しんでもらえるように、このモーターサイクルを開発しました。そして、それがまさに実現したことを嬉しく思っています。」

ロイヤルエンフィールド最高経営責任者(CEO)のB・ゴヴィンダラヤンは、**Super Meteor 650**の発売に際し、次のように述べています。「私たちは常に、優れたモーターサイクルを製作するだけでなく、従来のモーターサイクル・セグメントを変えてしまうようなモデルを創出することに注力してきました。以前販売したクルーザーモデル、**Thunderbird**(サンダーバード)の後継モデルとなった**Meteor 350**(メテオ・サンゴーマル)は、クルージングを愛する世界中のライダーに受け入れられ、ヨーロッパをはじめ多くの地域で最も売れているモーターサイクルの1台になりました。**Super Meteor 650**は、ハイエンド・クルージング・セグメントに新たな命を吹き込み、本格的で扱いやすいミッドセグメント・クルーザーとしての独自のアイデンティティを構築しています。」

ROYAL ENFIELD

Super Meteor 650は本日からインドで発売し、まもなくヨーロッパやその他の市場でも発売する予定です。」

オーセンティックなクルーザー・モデルの**Super Meteor 650**は、整然と配置したスイッチ類とインストルメントパネル、リラックスできるライディング・ポジションを組み合わせています。それによって、高速道路での極めて安定した走り、切り返しが続くワイディングロードでの俊敏さを併せ持ちます。フレキシブルでスムーズな特性を持つエンジンは十分なトルクを発生し、そのクールでレトロなスタイルには、ロイヤルエンフィールドのDNAをはっきりと見て取ることができます。広大な風景を横断する場合でも、地平線のかなたに向かってひた走る場合でも、このモーターサイクルは圧倒的な存在感を放ち、イージー・ライディングでライダーを魅了します。

長年にわたり、ロイヤルエンフィールドは、スタイリッシュなモーターサイクルを導入してクルーザー・カテゴリーの成長に多大な貢献をし、それまで存在していなかった全く新しい市場を開拓してきました。クルーザーというジャンルが定義される何十年も前の1950年代半ばから、クルーザーの人気の高かった米国向けに、二気筒エンジンを搭載した**Redditch Super Meteor**（レディッチ・スーパー・メテオ）を生産していました。このモデルは、まさに現在のクルーザー・モデルそのものです。

それ以降、当時インドで最大かつ最高峰のモーターサイクルであった**Citybike**（シティバイク）、**Lightning 535**（ライトニング・ゴースンゴ）、350ccおよび500ccの**Thunderbird**とともに、インドにクルーザー・モデルを導入し、数多くの熱狂的なファンを獲得しました。2020年には、まったく新しいJシリーズ・プラットフォームを採用した**Meteor 350**を発売し、世界的な成功を収めました。**Meteor 350**は、デザイン、品質、そして最も重要な走行性能の面において、新たな基準を設定しました。

Harris Performance（ハリス・パフォーマンス）と共同で開発し、英国のテクノロジーセンターで作成したフレームとスイングアームは完全新設計で、このモーターサイクルの設計要件である高速安定性をもたらす低い重心と容易な取り回しを実現。あらゆる経験値のライダーが自信を持ってライディングすることができます。鍛造行程を最適化したスチールパーツ、インベストメント鑄造パーツ、押し出しプレス材といったさまざまな素材を組み合わせ作り上げたフレームは、新しいシリンダーヘッド・マウントを組み込み、さらに剛性を高めています。またロイヤルエンフィールドとしては初めて倒立フォークを採用（ストローク：120mm）。5段階のプリロード調整が可能なプレミアム・リアショック（ストローク：101mm）と組み合わせることにより、**Super Meteor 650**は公道における優れた走行安定性と運動性能を両立し、ワイディングロードでも軽快に走ることができます。

Super Meteor 650は、ライダーにとって安心できる車体サイズと高い実用性を特徴とし、低い重心、着座面が広く、なおかつ低く設定したシート高、グラマラスな燃料タンクと先端を細くしたシートに形状よって構築した流麗なボディラインといった、本格的なクルーザー・モデルのディテールを備えています。ライディング・ポジションは、クルーザー・モデルの重要な差別化要素の1つです。**Super Meteor 650**は、ステップ位置がエンジン前方にあるフォワード・コントロールと、ワイドなハンドルバーを備えています。これらのクルーザーのデザイン要素が融合し、ライダーとモーターサイクルの一体感が高まっています。大型の燃料タンクは長い航続距離に貢献し、フロント19インチ/リア16インチのキャストホイールに、専用設計したチューブレスタイヤを装着することで、高速道路の走行における高い走行安定性と安心感を提供します。そのダイナミックなデザインと印象的なシルエットが、流麗なラインを描くモーターサイクルの外観と融合して、たとえ静止していても、いまにも走り出しそうな印象を与えます。

ライダーの視界とスイッチ類は、開発にあたってクラス最高のデザイン、フィット感、仕上げを目指して特別にデザインしました。メーターパネルは、時代を超越したエレガントなアナログ・スピードメーターに加え、シフト・インジケーター、燃料計、時計、トリップメーターなどの重要な情報を表示するLCDディスプレイで構成しています。アジャスター機能付きのクラッチおよびブレーキ・レバーは、レトロなスタイルとスムーズな操作性を提供し、人間工学に基づいて設計した樽型グリップには、ロイヤルエンフィールドのロゴをデザインしました。新しいアルミキャストのスイッチボックスには、独自のロータリー型スイッチを継承し、美しいメッキ仕上げとすることで、プレミアムでシックなデザインアイテムにもなっています。さらに、Royal Enfield Tripper（ロイヤルエンフィールド・トリッパー）と名付けた、ターン・バイ・ターン式ナビゲーションも装備しています。Googleと

ROYAL ENFIELD

共同開発したこの高度なナビゲーション・ツールは、インド製モーターサイクルとして初めて**Meteor 350**とともに市場に導入し、Bluetooth経由でライダーのスマートフォンとリンクします。また、USBソケットは、左側サイドパネルの下に配置しました。そして、このクルーザーのさらなる注目ポイントは、ロイヤルエンフィールド初のLEDヘッドライトです。このヘッドライトのデザインは、昔ながらの魅力を提供するように慎重に設計していますが、LEDテクノロジーが備えるすべての利点をライダーに提供します。

Super Meteor 650は、歴史的なロイヤルエンフィールドのデザインにヒントを得た専用のタンクエンブレムに、クローム仕上げを施し、2色のアクセントをくわえ、ゴージャスで宝石のような輝きを放ちます。スタンダードグレードの**Super Meteor 650**には、5つの印象的なカラー（**アストラル・ブラック**、**アストラル・ブルー**、**アストラル・グリーン**、**インターステラ・グレー**、**インターステラ・グリーン**）を用意しました。プレミアムグレードとなる**Super Meteor 650 Tourer**には、ツーリング・フロントスクリーン、デラックス・ツーリングシート、パッセンジャー・バックレストを装備しており、2つの特徴的なツートーン仕上げ（**セレスティアル・レッド**、**セレスティアル・ブルー**）を用意しました。このモーターサイクルは、アジア太平洋市場でも、今後順次発売されます*。

すべてのロイヤルエンフィールド・モーターサイクルと同様、**Super Meteor 650**は、その機能を補完し、さまざまな方法でツーリングをサポートする幅広い純正モーターサイクル・アクセサリを用意しています。ソロ・ツアラーをテーマにした**Super Meteor 650**には、スタイリッシュにソロツーリングを楽しむためのオーダーメイドのアクセサリが揃っています。その中でもSolo Tourerパッケージには、**Astral**（アストラル）および**Interstellar**（インターステラ）の2種類を用意しました。これには、バーエンド・ミラー、バーエンド・フィニッシャー、フロント/リアLEDインジケーター、ソロ・フィニッシャー・キット、コンパクト・エンジンガード、切削加工したキャストホイール、デラックス・ライダーフットペグ、シルバー仕上げのサンブガードが含まれます。グランド・ツアラーをテーマにした**Super Meteor 650 Tourer**には、デラックス・ツーリングシート、ピリオン・バックレスト、ツーリング・フロントスクリーンが標準装備されます。

さらに、GMA (Genuine Motorcycle Accessories / 純正アクセサリ) のさまざまなアイテムを追加して、**Super Meteor 650**を本格的なツアラーに仕立てることもできます。これらには、ツーリング・ファット・ハンドルバー、ツーリング・ミラー、デラックス・ライダーフットペグ、LEDフォグライト、エアフライ・エボ・エンジンガード、ブラック・サンブガード、フロント/リアLEDインジケーター、大容量のパニアケースが含まれます。

Super Meteor Tシャツ、バッグ、アクセサリなど、スタイリッシュで高品質なアパレルも取り揃えています。**Super Meteor 650**は、ライダーが日常生活から解放され、気の向くままにバイクを走らせるというロマンをサポートし、広大な空とどこまでも広がる風景を体験し、時間や走行距離に制限されない旅に出ることができるように開発されました。

ロイヤルエンフィールドは、モーターサイクルに熱中しながら、クルーザーに乗った経験がない人々や、これまで乗りたと思っていた人々に、クルージングの世界を紹介し、ファンを創出できると確信しています。

※日本市場への導入時期は別途ご案内いたします。

#SuperMeteor650 #PureCruising #PureMotorcycling #RoyalEnfield

ROYAL ENFIELD

<ロイヤルエンフィールド社について>

ロイヤルエンフィールドは、1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ちますが、1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは、魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちがPure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、新型クルーザー「メテオ350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「コンチネンタルGT650」、アドベンチャーツアラー「ヒマラヤ」、アイコンックな単気筒モデル「クラシック350」などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは、各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し、何千人ものロイヤルエンフィールドファンが集まる「ライダーマニア」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤン・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,100以上の販売ディーラーを、また世界60カ国以上に約850の販売ディーラーを展開しています。

またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランティングソープとインドのチェンナイの2箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの2箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、タイ、アルゼンチン、コロンビア、ブラジルの4ヶ所に最新のCKD(コンプリート・ノックダウン)組立施設を有しています。過去5年間のCAGR(年平均成長率)は37%以上、2021-22年の国際市場での売上は前年比108%増と、ロイヤルエンフィールドは世界の中型モーターサイクル市場をリードしています。

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は、下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.royalfield-tokvoshowroom.jp/>

製品に関するお問い合わせ先

ピーシーアイ株式会社(ロイヤルエンフィールド正規輸入販売元)

E-mail: press@pci-ltd.jp

報道関係者のお問い合わせ先

Royal Enfield 日本PR事務局(アソビバ合同会社内) 担当: 三屋(みつや)080-4753-9823

TEL: 03-4572-0690

MAIL: royalfieldjp_pr@asovivapr.com